

健康運動指導 研究助成

募集内容

運動指導における実践研究、地域・職域における健康・体力づくり、問題解決のための調査研究及び指定研究に対して助成を行います。

指定研究区分は、健康運動指導士・健康運動実践指導者の資格を有する方以外に、一定の機関に所属する研究者の方も応募いただけます。

1

「実践研究」区分

運動指導活動における検証、課題解決、人材育成、コロナ禍における新たな指導法等のための研究

助成金額

1研究につき

30～50万円

(15件以内)

応募資格

健康運動指導士又は健康運動実践指導者の資格を有する者

※この区分は、大学・研究機関において研究活動を主な業務とされている方より、指導活動を主な業務とされている方を優先します。

注：上記の資格を有する者は研究採択時(令和3年4月)から研究報告時(令和4年5月)までの間、資格を有する者をいいます。(当該期間に更新する者も含む)

2

「調査研究」区分

我が国の健康・体力づくりに貢献できる、地域・職域における健康・体力づくり推進、コロナ禍における新たな指導のあり方のための研究

助成金額

1研究につき

上限100万円

(5件以内)

応募資格

健康運動指導士又は健康運動実践指導者の資格を有する者

注：上記の資格を有する者は研究採択時(令和3年4月)から研究報告時(令和4年5月)までの間、資格を有する者をいいます。(当該期間に更新する者も含む)

3

「指定研究」区分

令和3年度研究課題

『地域における身体活動・運動の推進に関する研究』

助成金額

1研究につき

上限250万円

(3件以内)

応募資格

以下に所属する研究者

※「学校教育法に基づく大学及び同附属試験研究機関」「国の施設等機関」「地方公共団体の附属試験研究機関」「研究を主な事業目的としている公益財団法人、公益社団法人、一般財団法人及び一般社団法人」「研究を主な事業目的とする独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第2条の規定に基づき設立された独立行政法人」

※共同研究者又は研究協力者は、健康運動指導士又は健康運動実践指導者の資格を有していることが望ましい。

研究期間

令和3年5月～
令和4年3月31日

受付期間

令和2年

12月1日火～ 令和3年 **1月15日金**

必着

選考結果 令和3年4月初旬に郵送にて通知

応募方法

当財団ホームページより申請書様式をダウンロードして必要事項を記入し、特定記録郵便、簡易書留等、記録の残る方法で提出してください。FAXやメールでの提出は認められません。

申請書ダウンロード <http://www.health-net.or.jp/tyousa/josei/index.html>



■申請書送付先・問い合わせ先

公益財団法人
健康・体力づくり事業財団
JAPAN HEALTH PROMOTION & FITNESS FOUNDATION

〒105-0021 東京都港区東新橋2-6-10 大東京ビル7階
公益財団法人 健康・体力づくり事業財団 指導者支援部 研究助成担当
TEL:03-6430-9115/FAX:03-6430-9215

参考

令和2年度 採択研究課題

実践研究

採択研究課題

有料老人ホーム入居者を対象とした下肢機能改善プログラムの考案
～練功の動きを取り入れたエクササイズの実践～

高齢2型糖尿病患者に対するヘアゴムを使用したレジスタンス運動効果の検証
～血糖コントロール効果及びロコモティブシンドローム予防の有効性を探る～

生活習慣病を有した運動継続者の性格特性と運動効果の関連について
～多施設共同研究～

全国的に広がるいきいき百歳体操の“現場で活用できるエビデンス”をつくる

地域住民におけるご当地「楽10体操」の身体機能と認知機能への効果
～ええ加減で安全！サルコペニア・フレイル予防～

レジスタンストレーニングが鎖骨上窩の褐色脂肪組織密度に及ぼす効果

SNSのメッセージ機能とスロージョギングによる介入が身体活動量と行動変容に与える影響

高齢者指導における「セルフ負荷設定」と「主観的運動強度の実践」による
下肢筋力向上と歩行機能向上

一般成人を対象とした運動習慣と習慣化促進・阻害要因に関する研究

カラダの正しい使い方「カラダ取説」でロコモ予防

医療機関に通院中の生活習慣病患者に対するグループ運動療法の自己効力感や不安、
身体機能への効果

調査研究

採択研究課題

行動経済学に基づくナッジを用いた女性の階段利用促進に関する実証的研究
～メッセージの違いによる比較～

就労女性の運動習慣化を目的とした地域介入：ソーシャル・マーケティングと
Webサービスの活用

スマートエクササイズプログラムは若年女性の身体活動量を増加させるか

指定研究

採択研究課題

高齢者が健康を維持するために必要な身体活動量と栄養摂取量の定量化
～指導者が自信を持って指導できるためのエビデンスの提供～

中程度高地・低酸素環境で行うウォーキングの健康・体力づくり効果